

令和5年3月15日 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報 告）

ア 令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰について

※教職員課長から資料に基づき説明

（安田委員）表彰伝達式は毎年度行われているのか。表彰式には誰が出席しているのか。

（教職員課）ここ数年は、教育長室で表彰伝達式を行っていたが、今回は日程の都合で教育会館の2階で実施した。出席者は教育委員会事務局の職員である。

（安田委員）日程を合わせることが可能であれば、教育委員会定例会等の機会に表彰式を行い、多くの方から受賞者が称賛を受けられるようにしてはどうか。

（教育長）本来であれば文部科学省に出向いて表彰を受けるところだが、ここ数年は新型コロナウイルス感染症対策として、各自治体で表彰式を行っている。文科省において授賞式が開催されていた際は、受賞の報告として教育長室で伝達式を行っていたが、近年では、表彰と受賞報告を合わせて行う形をとっている。

（田中委員）受賞された教員の勤続年数は何年か。年齢が若い教員にとっても表彰を経験することでモチベーションがあがるのではないか。

（教職員課長）①蒲小 平教諭は勤続22年、②与進小 磯部教諭は勤続23年、③内野小 吉田教諭は勤続26年、④雄踏中 馬淵教諭は勤続25年である。受賞するための条件として、前年度に「浜松市優秀教職員表彰」を受けていることが前提であることから、受賞者の年齢層はおおむね40代である。

イ 令和4年度「浜松市児童生徒文化・スポーツ賞」受賞者の決定について

※指導課長から資料に基づき説明

（質問なし）